

一般社団法人 所沢市医師会

所沢市医師会報

The Journal of the Tokorozawa Medical Association

- 新入会員の紹介
- 私の診療
- リレーエッセイ（第7回）
- 学術

2017年

11

第376号



第376号 目次

新入会員の紹介

溝渕内科医院 溝渕 杏子 1

シリーズ⑤ 私の診療 第1回

西埼玉中央病院呼吸器診療発足と1年を振り返って 濱 元 陽一郎 2

リレーエッセイ ~第7回~

ピツツバーグの青い空

— 素晴らしいボスと研究仲間たち — 伊 藤 哲 7

学 術

所沢市医師会学術講演会

痛みの疾患（骨粗鬆症・関節症）の同時治療のロジックとエビデンス

—なぜ生活習慣病例は要注意なのか？—

東京慈恵会医科大学 整形外科 准教授 斎 藤 充 21

逆流性食道炎の病態と治療の新展開

日本医科大学 消化器内科 教授 岩 切 勝 彦 26

・結核読影研修会

肺結核の画像診断のポイント — 結核を見逃さないために —

公益財団法人 結核予防会結核研究所 研究主幹 伊 藤 邦 彦 28

報 告

第70回 埼玉県医師会創立記念表彰式受賞者 30

事業所におけるメンタルヘルス対策（ラインケアを中心に）

..... 柳 延 亮 31

所沢看護専門学校・准看護学院便り（所看・所准便り）(13)

「所沢市医師会奨学金給付学生からの御礼」 赤 津 拓 彦 33

麻雀大会・今年度2戦目

— 所沢医師会 麻雀愛好会報告 —瀬 川 大 輔 37

シリーズ⑤ 私の診療

西埼玉中央病院呼吸器診療発足と
1年を振り返って

第1回

西埼玉中央病院 呼吸器科医長 濱 元 陽一郎

第1回：「西埼玉中央病院呼吸器診療発足と1年を振り返って」

はじめまして、西埼玉中央病院呼吸器科医長をしております、濱元陽一郎と申します。2016年7月より成宮院長先生の命を受け、西埼玉中央病院呼吸器診療の立ち上げを開始致しました。過去15年前後呼吸器科常勤医不在の病院での船出となります。所沢の呼吸器診療を充実させることができるように努力して参ります。

所沢市医師会の皆様より4回シリーズでの寄稿を依頼されました。第1回は、西埼玉中央病院呼吸器診療発足と1年を振り返ってと題し、所沢の呼吸器診療の現状と呼吸器診療を開始してからの現状についてお話しして参ります。第2回では、呼吸器疾患全般として、呼吸器専門診療が必要な呼吸器疾患とは何かについてと臨床研究についてお話し致します。第3回、西埼玉中央病院の呼吸器診療現スタッフについての紹介をさせていただきます。最終回では、所沢の呼吸器診療の今後の将来展望について書かせて頂き、まとめて参ります。

《4回シリーズ内容》

第1回：西埼玉中央病院呼吸器診療発足と1年を振り返って

第2回：呼吸器疾患と臨床研究について

第3回：スタッフ紹介（濱元、井部、児玉）

第4回：西埼玉中央病院呼吸器科の将来展望

埼玉県（人口726万人）は、10個の2次医療圏に分けられています。西埼玉

中央病院の位置する所沢市（34万人）は、埼玉県の南部東京都に接する西部医療圏（図1. 人口78万人）にあり、埼玉県の65歳以上の増加数は、全国47都道府県で4番目になる高齢化に向かっている都市でもあります（図2.）。この人口の多い環境の中、所沢市の西埼玉中央病院は15年以上にもわたり呼吸器の常勤医師が不在でした。人口が多く、高齢化の進む都市で呼吸器診療が必要ないはずがありません。考えられる理由として、呼吸器専門医不足、清瀬地域に呼吸器を専門とする大きな病院が存在すること、西埼玉中央病院は小児周産期が主力であったことなどが挙げられます。

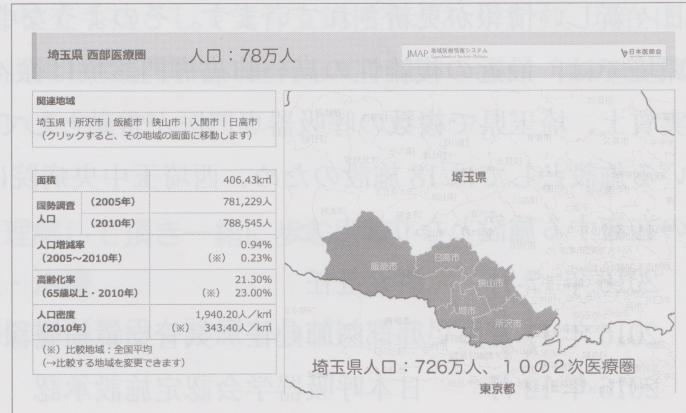


図1. 西部医療圏

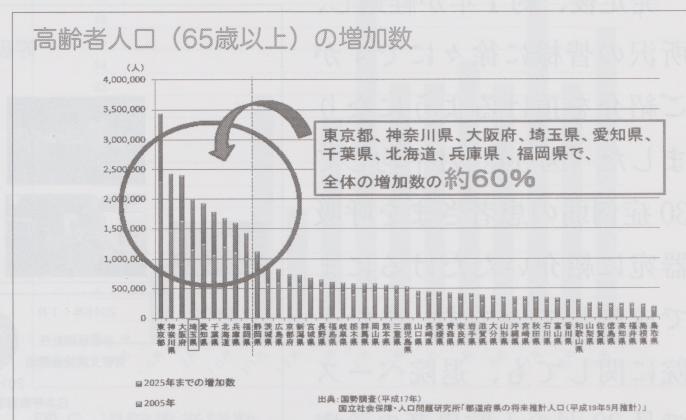


図2. 埼玉県人口増加

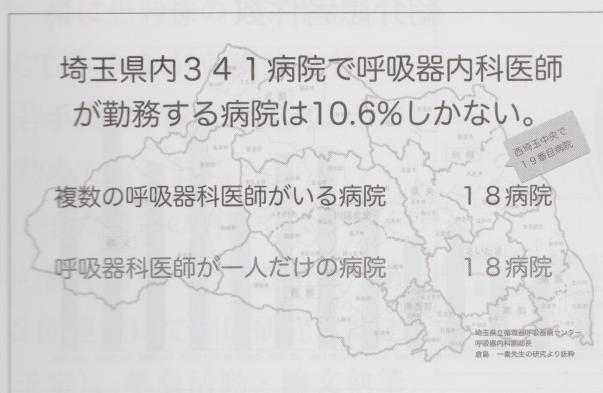


図3. 埼玉県医師人口

埼玉県には341の病院がありますが、呼吸器専門医が常勤医で在籍する病院は10%の約36施設です（図3. 埼玉県立循環器呼吸器センター；倉島一喜調査より）。更に、複数呼吸器専門医が存在する施設は約半数の18施設になります。最近の呼吸器専門診療として、肺癌診療は複雑になり更に

日々新しい情報が更新されています。そのような中、1人で呼吸器科診療を行う環境では、最近の複雑性の高い肺癌専門診療は徐々に難しくなりつつあります。実質上、埼玉県で複数の呼吸器専門医が常勤として勤務し呼吸器診療を行なっている施設としては18施設のため、西埼玉中央病院は19番目に複数呼吸器専門医の在籍する施設となりました。

2016年7月 濱元赴任

2016年11月 井部医師赴任 / 気管支鏡検査稼働開始

2016年12月 日本呼吸器学会認定施設承認

2017年4月 児玉医師赴任（図4）

発足後、約1年が経過し、

所沢の皆様に徐々にですが
ご紹介を頂けるようになりました（図5）。月平均して
30症例弱の患者さまを呼吸
器宛に紹介いただけるにま
で成長しています。また入
院に関しても、退院ベース
で月30弱の入院患者の診療
をおこなっています（図6）。

その内訳として、一番多く
診療しているのが肺癌で
あります（図7）。2番3番と
肺炎・誤嚥性肺炎を診療し
ている状況です。それ以外
に、呼吸器診療が必要である
間質性肺炎やCOPD・喘
息なども診療しております
(呼吸器疾患の詳細につい
ては、第2回にてお話し致



図4. 1年の歩み

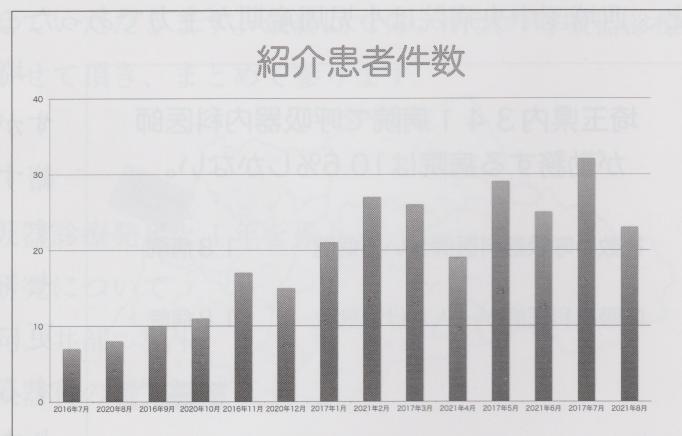


図5. 患者紹介件数

します)。呼吸器診療で重要な検査手技として気管支鏡検査があります。現在は、火曜日・金曜日の午後に枠を設置して定期的に施行しています。約1年の経過ですが100件弱までの到達しています。

**我々の目指す医療として、
わかりやすい説明・理解して頂き一緒に歩む医療
スピーディーな検査・治療
を目標に掲げて日々診療を心がけております。**

国立病院機構の病院は、臨床・研究・教育の3本の柱を中心に診療をしております。臨床だけでなく教育の側面として、埼玉医科大学の仲村教授とのカンファレンスがあります。埼玉医科大学の仲村教授は、我々の赴任前より非常勤で外来診療をされておりました。現在は、月2回西埼玉中央病院へ診療カンファレンス目的に来て頂いています。一緒に患者様のレントゲン・CTをみながら議論を行い、若手教育と診療の質向上とに勤めております。

また研究の側面では、多くの臨床研究への取り組み（第2回連載にて臨床研究は記述予定）、学会活動・論文執筆も行なっております。

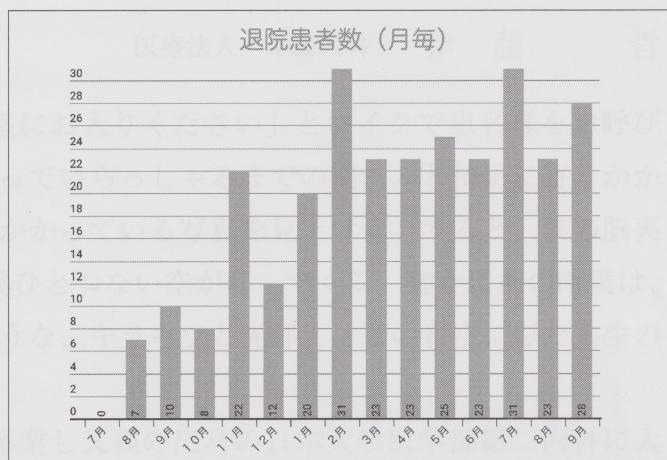


図6. 退院患者総数

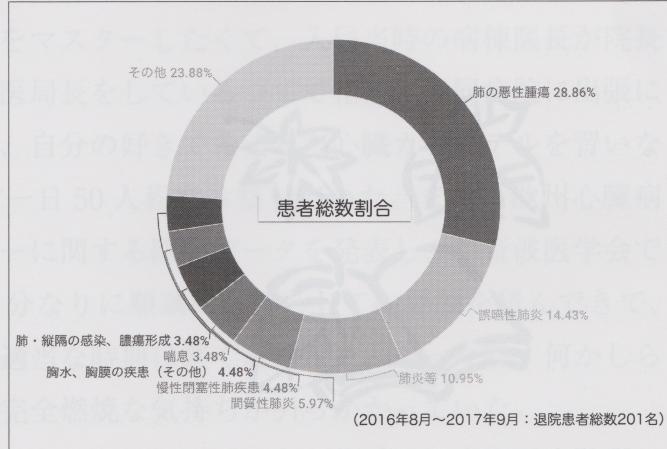


図7. 患者ポートフォリオ (西埼玉)

まだ、始まったばかりの診療科ではあります。人口増加・高齢化の進む所沢市において、胸を張れる呼吸器診療を目指して参ります。所沢市の皆さまよりの患者さまを紹介いただくことで、我々の呼吸器診療は育っていく信じております。

胸部異常陰影など、呼吸器専門診療必要で臨床上お困りの際は、是非ご紹介ください。患者さまをご紹介頂くとともに、我々の呼吸器診療を成長させて頂ければと思います。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

2016年11月 東京Q病院にて心肺蘇生法講習会開催

2016年12月 日本呼吸器学会認定施設承認

